

プレス技術 8月特別増大号

広告出稿のご案内

特集1 自動車産業の行方と塑性加工の未来

我が国の基幹産業であり、モノづくりの基盤である自動車産業は、現在100年に一度の変革期にあると言われており、カーボンニュートラルの実現またはCASE（コネクテッド・自動運転・シェアリングなどの新サービス・電動化）による技術革新への早急な対応が求められています。また一方では各種シミュレーション技術をもとにした自動車開発・製造のデジタル化も急速に進んでおり、両者は車の両輪のような関係にあると言われています。そうした中、プレス加工メーカーにとっても自動車部品は最大の需要先であり、変革が具体的にどんな影響をもたらすのか、自身の戦略の方向性を定めるうえで最大の関心事となっています。

本特集では、自動車動力の電動化を軸に塑性加工を適用できる領域とその課題、またEV開発において自動車開発プロセスがどのように変化しそれによってどのような影響があるかなどを紹介していきます。

【予定目次】

- 総論
EV化をチャンスに変える塑性加工業の条件 日本工業大学専門職大学院 横田 悦二郎
- 解説
激動する世界の自動車産業 - 電気自動車の普及加速で変わる部品サプライヤー構造 - 立命館大学 佐伯 靖雄
- EVの技術的課題と塑性加工の適用領域 日本大学 高橋 進
- 車体軽量化技術の概要と塑性加工 リンツリサーチエンジニアリング 小松 隆
- CASE実現に伴う自動車開発プロセスの変革 - 開発のデジタル化の現状と中小製造業 - 内田 孝尚
- 空飛ぶクルマの現状と課題 空飛ぶクルマ研究ラボ ほか

特集2 ビジネスに活かす! プレス・板金加工メーカーのSDGs戦略

持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。「貧困をなくそう」「エネルギーをみんなに、クリーンに」「人や国の不平等をなくそう」など17個の具体的な目標が内包されており、それぞれを17色の色で表現しています。近年では、政治家や経済界のリーダーたちもこのSDGsの17色を使ったバッジを胸に飾っており、社会的な知名度・関心も高いものとなっています。特に、自動車・家電メーカーなど、プレス・板金加工メーカーにとっての顧客はSDGsに高い関心を示しています。今後、新たな受注を目指す際にいかに自社がSDGsに沿った活動をしているかが受注の条件や決め手になることも十分、考えられます。

本特集では、「SDGsとは何か」「どのようにすれば企業も貢献できるか」などの基本を確認。そのうえで現在、実際に取り組みを始めた加工メーカーの事例を取り上げ、塑性加工メーカーができるSDGsへの貢献の方法、またビジネスチャンス拡大への活用の道筋を探っていきます。

【予定目次】

- 総論
企業にとってのSDGsとは何か～中小塑性加工メーカーでも取り組めるSDGs
- 事例解説
社内独自認定制度の設置で、社員全員がSDGsを理解 製造工程に生かす 太陽工業(株)
- 地場産業活性化へ! 27社、チーム丸となって新規受注を目指す エムテートリマツ(株)
- SDGs実践事例集
17個の目標で、いくつをどのように自社として貢献しているかを見開き2ページで紹介 藤井プレス工業、平出精密、エム・ディー精密、生野金属、桜井製作所 など5社程度

広告締切日

- 広告お申し込み締切日……………6/11(金)
- データ入稿締切日……………6/15(火)
- 発売日……………7/8(木)

◆ プレス技術・本文特集予定

- 9月号 微細精密プレス加工
- 10月号 サーボプレス
- 11月号 工法開発

PRESS WORKING

プレス技術

掲載料金表

- 発行部数：30,000部
- 体裁：B5判・左開き・無線平とじ

記事(1色)	ヨコ1/3	53,900 (49,000)
挿込(前付)	2	220,000 (200,000)
	4	352,000 (320,000)
挿込(後付)	2	169,400 (154,000)
	4	271,700 (247,000)

[特定頁]					[前付]							[後付]		
場	所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	場	所	スペース	カラー	3色 (C+M+K)	2色 (C+K)	2色 (M+K)	1色 (K)	1色 (K)
表紙	1	1	693,000 (630,000)	—	—	第1頁	1	1	455,400 (414,000)	—	—	—	—	114,400 (104,000)
表紙	4	1	528,000 (480,000)	—	—	最終頁	1	1	—	—	—	—	139,700 (127,000)	89,100 (81,000)
表紙	2	1	479,600 (436,000)	—	—	普通頁	1/2	1/2	—	—	—	85,800 (78,000)	—	49,500 (45,000)
表紙	3	1	359,700 (327,000)	—	—		1	1	408,100 (371,000)	207,900 (189,000)	157,300 (143,000)	143,000 (130,000)	100,100 (91,000)	82,500 (75,000)
本文目次(奇)	1	1	455,400 (414,000)	—	—		2	2	734,800 (668,000)	374,000 (340,000)	282,700 (257,000)	257,400 (234,000)	179,300 (163,000)	148,500 (135,000)
(偶)	1	1	420,200 (382,000)	—	—		3	3	1,071,400 (974,000)	545,600 (496,000)	412,500 (375,000)	375,100 (341,000)	261,800 (238,000)	217,800 (198,000)
(下)	1/4	1/4	—	—	69,300 (63,000)		4	4	1,388,200 (1,262,000)	707,300 (643,000)	534,600 (486,000)	486,200 (442,000)	339,900 (309,000)	281,600 (256,000)
広告目次(奇)	1	1	—	—	—									
広告目次(偶)	1	1	347,600 (316,000)	232,100 (211,000)	188,100 (171,000)									

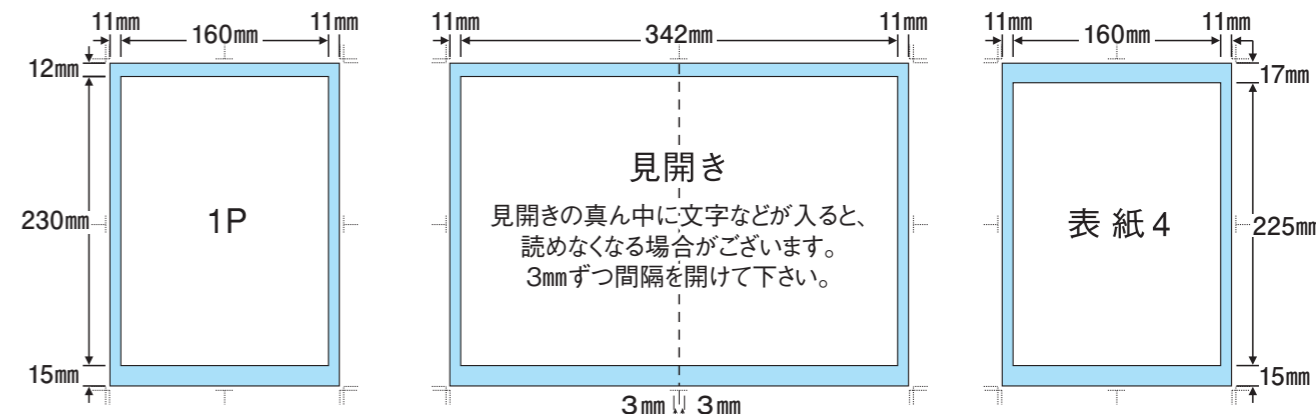
※表示価格は税込金額、()内は税抜き表示です。

◆ B5判広告スペースサイズ

▼原稿サイズ (仕上がり寸法257×182mm)

スペース	サイズ	普通版 天地×左右(mm)	断切版(ブリード) 天地×左右(mm)	
A	表紙	4	225×160	不可
B	1ページ	—	230×160	257×182
C	見開き	—	230×342	257×364
D	ヨコ1/2ページ	—	105×150	不可
E	タテ1/3ページ	—	225×45	不可
F	記事中ヨコ1/3ページ	—	65×150	不可
G	目次下1/4ページ	—	55×150	不可

※断切版は断ちしろ3mm加算(天地左右)



上図の様に「1頁」および「見開き(2頁)」の原稿は、「コーナートンボ」および「セリタートンボ」を、1頁はB5版に、見開き(2頁)はB4版に付けて下さい。ブリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

日刊工業新聞社 出版局
〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
雑誌部 TEL 03-5644-7447
FAX 03-5644-7405

大阪支社 ☎06-6946-3358
名古屋支社 ☎052-931-6155
西部支社 ☎092-271-5716

制作ガイド

日刊工業新聞社 出版局 雑誌部 広告原稿データ 入稿仕様書 

広告主名		
担当者	☎	()

データ制作者 記入欄

会社名	☎	()
担当者	E-mail アドレス _____ @ _____	

入稿メディア	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	メディア返却の有無
	<input type="checkbox"/> MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB	<input type="checkbox"/> 要返却 <input type="checkbox"/> 返却不要

仕様システム	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	● ご記入下さい
	OS Mac <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> 10.x <input type="checkbox"/> _____	Windows _____

出力ファイル名 (epsでの入稿推奨)	出力見本 (実寸1枚) (PDF可)	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色 <input type="checkbox"/> 3色 <input type="checkbox"/> フルカラー	

フォント	フォントは全てアウトライン化して下さい (Adobe Illustrator・InDesign)
<small>※アウトライン化できない場合、使用フォント名を記載してください</small>	

※アウトライン化が出来ない場合は印刷用PDFでのご入稿を推奨いたします (X1-a形式での入稿を推奨)。
※PDF入稿の場合はトンボ及び塗り足しの処理を再度ご確認ください。

原稿タイプ	● 原稿タイプは、裏ページの「サイズ」欄を参照の上 <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> F <input type="checkbox"/> G

色数	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい
	<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> 2色(マゼンダ+スミ) <input type="checkbox"/> 2色(シアン+スミ) <input type="checkbox"/> 3色(CMK) <input type="checkbox"/> フルカラー

アプリケーション	● 使用アプリケーションに <input checked="" type="checkbox"/> チェックし、バージョンをご記入下さい
	<input type="checkbox"/> Adobe Illustrator _____ <small>※「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい</small>
	<input type="checkbox"/> Adobe InDesign _____

リンクデータ	● リンクデータに <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい	<input type="checkbox"/> 埋め込み
	<input type="checkbox"/> EPS <input type="checkbox"/> TIFF <input type="checkbox"/> PSD (<input type="checkbox"/> CMYK <input type="checkbox"/> グレースケール <input type="checkbox"/> モノクロ2階調)	

オーバープリント	● <input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
----------	---

ハーフトーンスクリーン	● 使用しないで下さい
-------------	-------------

ダブルトーン	● 推奨しておりません。なるべくシアン版、マゼンダ版、ブラック版にて作成下さい。
--------	--

備考：	
-----	--

入稿前にチェックしてください (再確認)

- フォントはすべてアウトライン化 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 孤立点・不要なオブジェクト等は削除 (Adobe Illustrator・InDesignの場合)
- 入稿データの保存形式は「EPS」を推奨 (ai, PDF 可) ※1.
- aiデータは保存の際「PDF互換ファイルを作成」に必ずチェックを入れて下さい
- カラー原稿は、CMYKで作成 (RGB、特色厳禁)
- モノクロ原稿はグレースケールで作成 (CMYK、RGB、特色厳禁)
- モノクロ画像はグレースケールまたはモノクロ2階調で作成 (CMYK画像、RGB画像は厳禁)
- 画像データは「適正解像度」にしている
- 画像の保存形式フォーマットはEPS、TIFF、PSDのいずれかにしている ※2.
- EPSオプションは「8bit/pixels」で「ASCII85」で保存している
- ドキュメント設定の透明/プリセットは「高解像度」に設定にしている
- ドキュメントのラスターサイズ効果設定は「高解像度」に設定にしている
- 赤版は「マゼンダ」で、青版は「シアン」で作成 (3色はCMK) ※3.
- 断ちトンボ(トリムマーク)は付けてある (1頁・見開き・表4の場合) ※4.
- 入稿データは、作成したバージョンのまま保存 (下位保存すると破損することがあります)
- 各データには保存形式にあった拡張子を付けている
- 画像データ等のリンクファイルは同一階層(フォルダ等)に収め、画像データのリンク漏れは無い
- 出力見本で、文字化け等の無いことは確認済
- ウイルスチェックは実施済
- オリジナルデータはバックアップ済

- ※1.) PDFで入稿の際は、「x1-a」形式での入稿を推奨します。
- ※2.) イラストレーターaiデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「PSD」を推奨します。
イラストレーターepsデータにて入稿の場合、画像データの保存形式は「eps」を推奨します。
- ※3.) 赤版は、日刊工業新聞社指定の赤を使用します。
- ※4.) プリード版にて作成の際は、天地左右の文字の配置にご注意下さい。
紙面サイズいっぱい配置した場合、文字が切れる、読みづらくなる場合がございます。
また、罫下には、資料請求番号が入りますので、10mm余白を取って下さい。

広告原稿 入稿後の進行予定 (営業日内)

- ① 入稿日(受付時間：14時まで)に完全原稿 14時以降は翌日扱いになります。
- ② 入稿日の中2日後にプルーフ出力。
出力(プルーフ)：モノクロ・2色は1枚、3色・フルカラーは2枚。 ※表紙と表4については1枚。
- ③ 入稿日の翌々日着で、上記出力を送付[佐川急便]⇒出力確認・責了。
※上記以外の出力プルーフについては別途費用がかかります。
※再入稿した際の出力プルーフについても別途費用がかかります。

注) 締切日直前に入稿が集中しますので、余裕を持った入稿をお願いいたします。
また、弊社で入稿原稿のデータを修正することは原則ございません。

◆ その他、ご不明な点がございましたら担当者にお尋ね下さい。

 日刊工業新聞社 出版局 雑誌部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03-5644-7447 FAX.03-5644-7405